

令和6年度 県小学生大会シード設定基準

【令和6年4月】

鹿児島県バドミントン協会小学校部会

過去1年間の県協会主催大会（シングルスの場合はシングルス大会、小学生大会、春季選手権の3大会、ダブルスの場合は小学生大会、春季選手権の2大会）の結果から、下記例の順番でシードを設定する。

1 シングルスの場合（ダブルスは①,④を除外）

- | | | | |
|--------------|-------|--------------|-------|
| ① 当年度シングルス大会 | 1位～2位 | ④ 当年度シングルス大会 | 3位～4位 |
| ② 前年度春季選手権 | 1位～2位 | ⑤ 前年度春季選手権 | 3位～4位 |
| ③ 前年度小学生大会 | 1位～2位 | ⑥ 前年度小学生大会 | 3位～4位 |
- 以下同様に5位～6位, 7位～8位の順で設定する。

- 全国大会推薦選手のために試合に参加しなかった場合にはその者は当該試合で1位であったものとみなし、当該試合の入賞者の順位をそれぞれ1ランクずつ繰り下げるものとする。
- 参加者数が少ない場合は、第1～4シードまでを選出する場合もある。
- ダブルスで、ペアの変更があった場合には、シードを繰り下げるものとする。
 - 1位から4位に入った者同士が組んだ場合、又は5位から8位に入った者同士が組んだ場合には、ペアの変更はなかったものとみなす。
 - 1位から4位に入った者と、5位から8位に入った者又は上学年の1位から8位に入った者とが組んだ場合には、シード権の順位を1ランク下げる。
(第1シード→第2シード)
 - 1位から4位に入った者が同大会シングルスの1位から8位に入った者と組んだ場合には、シード権の順位を1ランク下げる。
(第1シード→第2シード)
 - 1位から8位までに入った者が9位以下の者と組んだ場合にはシード権を与えない。
- シングルスで、下学年の種目の1位又は2位に入った者が一つ上の学年の種目に参加した場合(例えば、シングルス大会3年の部で優勝した者が小学生大会4年の部に参加するような場合)には、当該1位の者を第11シードの位置に、2位の者を第12シードの位置に入れるものとする。
- 各チームの選手は、エントリー数に応じて各ブロックに均等に分けるものとするが、第1～4シードについては、シード設定基準のとおり配置する(例えば、第2シードと第3シードが同チームの者であった場合、第3シードと第4シードの位置を変えることをしない)。
- 第5～8シードは、基準大会の5～6位を基本とするが、5～8位までを抽選し、同一チームの選手が均等に配置されるように設定する。
- チームのランク下位の者がシード権を得ている場合には、その者のチームのランクは1位であるものとみなす。(チームのランク2位の者がシード権を得ている場合、その者に替えてチームランク1位の者にシード権を与えることはしない)。